

今年のRSウイルスの流行について

昨年から8月～9月の真夏にRSウイルスが流行しています。当院の患者数の動向を下のグラフに示します。昨年は青色、今年はオレンジ色です。昨年は7月下旬から流行が始まり8、9月にピークを作って10月から患者数が減少しています。今年も8月から患者さんが見られるようになり、9月にピークをつくってから10月から減少に転じています。

なぜ冬が流行期のRSウイルスが夏期に流行しているのか不明ですが、これまでにわかっていることは特にウイルスが変異しているわけではなく、RSウイルスそのものも夏期の環境でも十分な活動性を有しているということです。ちなみにRSウイルスにはA型とB型の2種類があり、かかっても十分な免疫ができないため、繰り返し感染を受けることになります。

